

## 「環境白書」の刊行にあたって



本県は、多彩で美しい自然環境に恵まれており、私たちの暮らしや産業は、この健全で豊かな環境から多くの恵みを受け、育まれてきました。こうした貴重な財産を、持続可能なものとして将来の世代にしっかりと引き継いでいくことが、今の時代を生きる私たちの使命と考えています。

このため、本県では、「第4次山口県環境基本計画」に基づき、気候変動対策の推進や循環型社会の形成、生物多様性の保全など、環境に関する様々な取組を積極的に進めているところです。

こうした取組により、本県の環境は概ね良好な状況にあります。近年、地球温暖化に起因する気候変動や生態系への影響、マイクロプラスチック等の海洋ごみによる汚染など、深刻な課題が顕在化しており、その克服に向け、これまでの取組を一層強化し、より実効性あるものとするのが本県にも求められています。

このため、私は、県政運営の指針である「やまぐち未来維新プラン」において、「脱炭素社会の実現に向けた地域づくりの推進」や「人と自然が共生する環境にやさしい地域づくりの推進」を重点施策に掲げ、次代につなげる持続可能な社会づくりを進めているところです。

その推進に当たっては、本年3月に改定した「山口県地球温暖化対策実行計画」をはじめ、「山口県循環型社会形成推進基本計画」など環境に関連する重要な計画との整合を図りながら、あらゆる施策を総合的かつ計画的に実施し、「健全で恵み豊かな環境の保全と創造」の実現に繋げていくこととしています。

この白書は、山口県環境基本条例に基づき、本県の環境の状況及び環境の保全に関する施策を取りまとめた年次報告です。

本書を通じて、県民の皆様がふるさとの環境について理解と認識を深めていただく一助となりますよう願っています。

令和5年(2023年)10月

山口県知事  
村岡嗣政